

道州制法案に慎重論

自民党が16日に開いた役員連絡会で、都道府県を廃止して10程度の「道」や「州」に再編するための道州制推進基本法案への慎重論が参院幹部から相次いだ。高市早苗政調会長が「関係団体からのヒアリングや全議員による議論を行う」と説明したのに対し、岸宏一参院幹事長代行が「地方6団体は反対しており慎重に議論すべきだ」と反発。ある幹部は「結論ありきで進めるのはおかしい」と指摘する。

離島保全懇談会設立へ

山本一太海洋政策・領土問題相は16日の記者会見で、国境に接する離島の保全・管理について話し合う有識者懇談会を立ち上げると発表した。排他的経済水域(EEZ)の基点となる離島が波に浸食されるのを防ぎ、漁業や鉱物資源を確保する狙い。6月に中間報告をまとめる。メンバーは次の通り。

奥脇直也・明治大法科大学院教授▽座長▽秋山昌広・東京財団理事長▽磯部力・国学院大法学大学院教授▽木場弘子・キャスター・千葉大客員教授▽久保文明・東大大学院教授▽志方俊之・帝京大教授▽渡辺東・日本離島センター専務理事

川崎・平野両氏を除名

民主党は16日の常任幹事会で、離党届を出した川崎稔、平野達男両参院議員の除籍(除名)を正式に決めた。

「平穏死」という

親孝行

親を幸せに看取るために子どもがすべき27のこと

- 「病院が一番」という思い込みを捨てる
- 「抗がん剤をやめる」という選択肢があることを知る
- 在宅療養に必要な「医療費・介護費」を計算する
- 相性のいい「訪問看護師」を選ぶ
- 「転倒→骨折→認知症」を防ぐ工夫をする
- 親と「葬儀」について相談する
- 自宅で亡くなっても「警察」を呼ばない

医師 長尾和宏

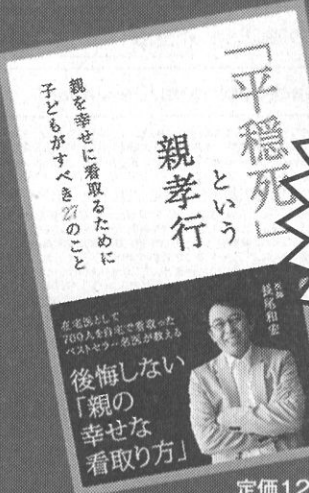


在宅医として700人を看取った町医者だから言える

後悔しない「親の幸せな看取り方」

「子ども」の誤った思い込みが「親」の穏やかな死を邪魔している!!

「平穏死」10の条件の著者による新・親孝行バイブル!!



発行：(株)アース・スター エンターテイメント TEL.03-5457-1471 http://www.earthstar.jp/ 発売：(株)泰文堂 〒106-0044 東京都港区東麻布1-8-4 パークハビオ麻布タワー15F TEL.03-3568-7972

定価1260円(税込) 978-4-8030-0450-2